



令和8年度 千葉県団体バスツアー優待プロモーションの御案内

令和8年度も千葉県内を周遊する団体旅行の誘客促進を図ることを目的として、団体バスツアーの造成支援事業を実施します。第1期は4月6日(月)から受付開始予定です。営業活動にぜひ御活用ください。

◆ 対象地域

北海道・群馬県・栃木県・茨城県・埼玉県・山梨県・青森県・岩手県・秋田県・宮城県・福島県・山形県・愛知県・三重県・岐阜県・静岡県・石川県・福井県・富山県・長野県・新潟県・大阪府・京都府・兵庫県・奈良県・滋賀県・和歌山県を発着する団体ツアー(募集型企画旅行・受注型企画旅行の区別は問いませんが、手配旅行は不可。)

◆ 期間

期間	ツアー対象期間	受付開始
第1期	2026年4月25日(土) 出発から2026年7月17日(金) 帰着まで	2026年4月6日(月) 受付開始(予定)
第2期	2026年9月1日(火) 出発から2026年11月30日(月) 帰着まで	2026年7月1日(水) 受付開始(予定)
第3期	2027年1月5日(火) 出発から2027年2月28日(日) 帰着まで	2026年12月1日(火) 受付開始(予定)

◆ 支援金(原則として、各事業所1期につきバス2台分まで支援)

※ 支援金が予算に達した場合は、その時点で終了します。

基本支援金	バス1台当たり
団体バスツアーが催行された場合	20,000円
加算項目	バス1台当たり
東京湾フェリー利用の場合	10,000円
宿泊の場合(泊数に関わらず)	30,000円
訪問する観光施設4箇所以上の場合(2市町村以上)	20,000円



申請について詳しくは、千葉県公式観光サイト「ちば観光ナビ」を御確認ください。

■お問い合わせ
事業第一課 担当:高橋

開催レポート 千葉県観光商談会を開催しました @ホテルメトロポリタン高崎

2月26日(木)に群馬県高崎市で観光商談会を開催しました。

群馬県での開催は、3年ぶりの開催となりましたが、新規参加を含め旅行会社13社20名、千葉県事業者29社39名に御参加いただきました。

商談会を通じて、観光事業者と現地旅行会社の関係を再構築、旅行商品造成の促進など活発な商談が行われました。令和8年度も千葉県観光商談会を予定していますので、詳細が決まりましたらお知らせいたします。



■お問い合わせ
事業第一課 担当:坂尻・高橋

支援条件が一部
変更になりました

令和8年度 訪日団体旅行誘客プロモーションについて 来年度も『千葉県インバウンドバス団体ツアー支援』を実施します！

令和8年度も、千葉県への外国人団体客の宿泊や周遊を促進するために、一定の条件を満たす訪日団体バスツアーに対し、ツアー造成費用を支援する「千葉県インバウンドバス団体ツアー支援」を県予算の成立を前提に実施いたします。県内の観光事業者の皆さまには本支援策を活用いただき、千葉県へのインバウンド誘客を促進していきたいと思っております。

※ 3月2日(月)から令和8年4月1日～9月30日出発分の事前審査を受付開始しました。
10月1日以降の出発分は9月受付開始予定です。

※ 詳細はこちらのURLから御覧ください。
https://maruchiba.jp/ibb_2026



～ 令和7年度実施報告 ～

令和7年度は過去最多だった昨年度を上回る計363件のツアー支援を実施しました。
(中国208件、台湾45件、香港43件、タイ33件、その他34件)



■ お問い合わせ
事業第一課 担当: 松本・鎌田

訪日教育旅行関連事業

台湾教育関係者招請

2月3日(火)～6日(金)にかけて、台湾教育署及び台湾における小・中・高の学校交流の仲介や推進を行う機関である「国際教育交流連盟」の陳執行長(台南・家斎高中校長)、役員校長ら計5名をお招きし、3泊4日の行程で県内の訪日教育旅行関連コンテンツを御案内しました。

協会の訪日教育旅行関係者
との意見交換会



オークラ千葉ホテル

学校視察



県立幕張総合高校

視察



鴨川シーワールド



海ほたるPA

体験

訪日教育旅行の滞在プログラムとして、様々な体験素材を提案。
「芋ようかん作り(長柄町)」「大相撲阿武松部屋 朝稽古見学(習志野市)」「和太鼓・居合体験(いすみ市)」「農業体験(白子町)」「和菓子作り(香取市)」



芋ようかん作り



阿武松部屋 朝稽古見学



和太鼓・居合体験



白子町 長ネギ収穫



和菓子作り体験



本事業は、海外の教育旅行関係者、訪日教育旅行を取り扱う現地旅行会社等を本県に招請し、県内の教育旅行素材を紹介することにより、訪日教育旅行の誘致を促進するものです。
来年度も、現地プロモーション等での情報収集をもとに招請者を選定し、実施する予定です。

参加された連盟役員の方々から「今回の体験は初めてのことが多く、ぜひ各学校(小・中・高校)に紹介したい!」と嬉しいお言葉をいただきました。この度の視察受入に御協力いただきました皆様、ありがとうございました。

■ お問い合わせ
事業第一課 担当: 飯田

訪日教育旅行関連事業

ホームステイ
受入地区募集

千葉県が行う訪日教育旅行のホームステイは、一般家庭で受け入れるパターンと、民宿活用パターンの2種類があります。



日本に居ながらできる、国際交流はじめての一步！

訪日する多くの学校団体から、日本の学校との交流に加え、様々な日本の文化体験、特に日本の家庭生活を体験できる「ホームステイ」の希望があります。県内でも複数のエリアで受入れを行っています。これからますます増加するホームステイの需要にこたえるため、新たに受入れていただく自治体・地域を常時募集しています。家庭でできる国際交流体験に是非チャレンジ！

- ・訪日する生徒は、台湾、マレーシア、インドネシア等の中高生
- ・1団体15～30名程度
- ・1家庭当たり2～4名、民宿利用の場合は6～8名の受入れ
- ・時期は春(4～6月)、秋(10～12月)の平日1泊が多い

説明会を開催しています

各市町村にお邪魔して、自治体・観光協会・関連事業者・ホストファミリーの皆様を対象に、ホームステイに関する説明会を開催しています。開催の御希望がありましたら下記担当までお問い合わせください。

オンラインでの開催、皆様に参加しやすい夕方以降の時間帯にも対応しています。

ホームステイのタイムスケジュール 一例

15:30頃

受入れ・歓迎式

18:00頃

各家庭で思い思いに過ごします。

ホストファミリーと対面。それぞれの家に向かいます。

翌朝8:30頃

出発式後、全員で記念撮影

9:00頃

見送り

一晩過ごしたパパ・ママと涙のお別れ

こんなことしてます～生徒との過ごし方～

- ・スーパーへ一緒に買い出し
- ・一緒に夕食作り(タコパも人気！)
- ・家族とゲームやカラオケ
- ・浴衣、茶道体験
- ・犬の散歩
- ・100円ショップでお買い物 など。

最近スマホの翻訳機能を使うので、コミュニケーションもあまり心配りません。

訪日教育旅行におけるホームステイ事業は、各自治体と地域の観光協会や国際交流協会等の組織と連携して行っています。初めは緊張気味の生徒達も、翌朝帰る頃には、すっかりホストファミリーと仲良くなり、お別れの時は毎回必ず涙、涙の場面があります。まずは1回、受入れを経験していただく、その素晴らしさが分かると思います。興味のある自治体、関係の皆様は、お気軽にお問い合わせください。

■お問い合わせ
事業第一課 担当:飯田・栗田

例:沖縄「沖縄いい」

ゲストティーチャが行く！

千葉市立朝日ヶ丘小学校4年生 総合的な学習の時間
「観光地の魅力を伝えよう」

観光教育の一環として、当協会職員がゲストティーチャーとなり、出張授業を行いました。授業では、協会の仕事を紹介したり、観光地の魅力を伝えるパンフレット作りについて児童にアドバイスしました。

9月 協会のお仕事紹介と、魅力発信のコツをレクチャー。

1月 児童は、自分が選んだ都道府県についてパンフレットを制作。1月は、制作中のパンフレットをもとに、さらに魅力が伝わるようにするためにはどうしたらいいか、気付いた点について助言。

パンフレットをつくる

パンフレットをてにとる

かいてあることがわかる

かんこうにいきたくない

かんこうにいく

動きがない。回廊のよう。

動きがある。観光もき。

朝陽・色がはっきりしていない。

朝陽・色がはっきりしている。

教室に貼りだされた、考え方を整理するための図

2月 授業参観日に、他学年の児童と保護者に向けて発表しました。



読み手の気持ちを考えて情報を整理する方法を小学生向けに伝えるに当たり、普段の業務やそれに取り組む考え方を棚卸して整理する良い機会となりました！

■お問い合わせ
事業第一課 担当:栗田
事業第二課 担当:岡元

開催レポート 関東ブロック物産観光連絡協議会 2月定例記者会

令和8年2月17日(火)、都道府県会館401号室にて関東ブロック定例記者会が開催され、千葉県は「房総国際芸術祭2027」の発表を行いました。

当日は、市原市が「房総国際芸術祭2027」について紹介を行い、これまでの芸術祭で展示された作品の紹介も交えながら、来年度の開催に向けて期待を高める内容となりました。

また、来月から始まるイベントについても案内を行い、発表後には多くの記者の方がブースにお立ち寄りくださいました。

記者の方々からの反応も良く、芸術祭の内容や市原市の取り組みに対して強い関心が寄せられ、特に鉄道関係の記者からは、「鉄道と芸術祭を組み合わせたい」という声が複数あり、小湊鐵道をはじめとした千葉の鉄道の魅力を改めて感じました。



■お問い合わせ
事業第二課 担当:中島・須賀

定例記者会は、毎月第3火曜日に開催しています。
今後PRしたい情報がございましたら、いつでも御相談ください！

千葉県 旅行会社招請事業(タイ編)

2月11日(水)から3泊4日で、チェンマイの旅行会社を招請して、タイプロモーション参加施設を中心に県内観光を体験いただきました。視察を通じて強い関心が示され、ツアー造成にも前向きな姿勢が確認でき、千葉の魅力発信に向けた更なる大きな一歩となりました。



マザー牧場



鴨川シーワールド



房総のむら



JALアグリポート

■お問い合わせ
事業第一課 担当:鎌田

ランドオペレーターとのインバウンド商談会開催

実施日: 令和8年2月18日(水)~19日(木)
場所: 成田東武ホテルエアポート
主催: 成田空港活用協議会・千葉インバウンド促進協議会



セミナー会場

成田空港活用協議会との共催により、旅行会社と県内事業者を対象としたインバウンドセミナー・商談会・ファムツアーを開催し、118名に御参加いただきました。セミナーでは成田国際空港株式会社から成田空港が掲げる「第2の開港」構想が紹介され、2日間のファムツアーでは酒蔵や相撲部屋、神輿ミュージアムなど多彩な魅力を体験いただきました。参加者からは高い評価が寄せられ、千葉のインバウンド促進に向け、一体感のある有意義な機会となりました。

行徳神輿ミュージアム



鍋店

■お問い合わせ
事業第一課 担当:市川・鎌田

お知らせ 第16回 通常総会について

- ◆日時 令和8年6月22日(月) 午後(予定)
- ◆場所 ロイヤルパインズホテル千葉 (千葉市中央区中央1丁目11-1)

■お問い合わせ
総務課 担当:高木

各種行事の後援について【申請書類・問合先のお知らせ】

協会では、千葉県の観光・物産情報を幅広くPRし、本県への誘客促進や観光振興を図るため、会員、地方公共団体等が実施する観光・物産振興に関する大会、祭り、イベント、物産展、展覧会、競技大会への後援を行っています。

申請方法・詳細については、担当までお問い合わせください。

後援の種類

- ◆協会の名義使用・賞状への協会長名の使用を認めること
- ◆賞品(トロフィー、カップ、楯)を寄贈すること



後援の要領及び様式については、協会WEBサイト『ちば観光ナビ』内に掲載しています。下記URLを参照ください。

<https://maruchiba.jp/kyokai/support/>

■お問い合わせ
総務課 担当:大藤(おおう)

後援申請の流れ

必要書類を提出(郵送)
後援承認申請書・行事の実施計画書・予算書等



後援承認(承認通知書送付)・
賞状交付・賞品寄贈



行事終了後に報告書を提出(郵送)
実施報告書・収支報告書・イベントの様子
(写真など)